

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No.	1090	(H.28)No.	1090
-----------	------	-----------	------

事務事業名	不法投棄対策事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
地域環境部	環境対策室	海野 隆広	

会計区分	事業コード	272001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	不法投棄対策事業	
項 清掃費	(小事業名)	
目 ごみ対策費	不法投棄対策事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	2 環境負荷の少ない社会の創造
	施 策	2 循環型社会
重点プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
不法投棄の監視パトロールと撤去体制を整備することにより、ごみゼロ社会の構築をめざします。

事業内容
・不法投棄の監視パトロールを通年でを行い、不法投棄物の早期発見、早期撤去を行うことにより、不法投棄ができない環境づくりをめざします。 ・家電4品目など法律でその処理方法が定められたものについて、適正に処理を行います。 ・クリーン大作戦による不法投棄ごみ回収

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	・不法投棄の監視/パトロールを通年で行之、不法投棄物の早期発見、早期撤去を行うことにより、不法投棄ができない環境づくりをめざします。 ・家電4品目など法律でその処理方法が定められたものについて、適正に処理を行います。 ・クリーン大作戦による不法投棄ごみ回収		
主な事業の実績・計画	・環境レンジャー委託 3,200千円 (ごみ撤去と監視パトロール) ・不法投棄物処理手数料 200千円 (伊賀環境衛生組合施設での処理困難な不法投棄回収物を民間事業者等で処理) ・消耗品費 334千円 (不法投棄防止看板等購入)	・環境レンジャー委託 ・不法投棄物処理手数料 ・消耗品費	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
			・環境レンジャー委託 ・不法投棄物処理手数料 ・消耗品費	・環境レンジャー委託 ・不法投棄物処理手数料 ・消耗品費	・環境レンジャー委託 ・不法投棄物処理手数料 ・消耗品費

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		3,771千円		4,984千円	4,984千円	4,984千円	4,984千円
内訳(千円)							
国・県支出金		600千円		687千円			
地方債							
その他(諸収入等)		1,475		3,679			
一般財源	0	1,696	0	618	4,984	4,984	4,984
人工数							
職員		0.66人		0.54人	0.54人	0.54人	0.54人
臨時職員等		0.15人		0.18人	0.18人	0.18人	0.18人
②概算人件費	0千円	5,205千円	0千円	4,356千円	4,356千円	4,356千円	4,356千円
①+②総事業費	0千円	8,976千円	0千円	9,340千円	9,340千円	9,340千円	9,340千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
環境レンジャーをシルバー人材センターに委託し、ごみ撤去と不法投棄の監視パトロールを行いました。 三重県海岸漂着物対策事業により、ごみ分別ガイドブック、不法投棄物等回収ごみ袋、不法投棄防止啓発看板の作成配布をし、啓発を行いました。地域の環境美化に多大な貢献をしています。地域及び市民から環境レンジャーの不法投棄対策活動は、たいへん感謝され、また通報や監視等において連携を図っています。 クリーン大作戦において、市民等と協働で実践しています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】	継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	不法投棄監視パトロール及び不法投棄物撤去を引き続き継続しなければなりません、財源不足のため三重県海岸漂着物等対策事業補助金及び家電製品協会の不法投棄未然防止事業協力金を申請しています。本事業は不法投棄防止対策や地域の環境美化など、快適な生活環境を維持するために継続して取り組む必要があります。	
6. 事務事業の取組に関する市の計画	ごみゼロ社会を目指すアクションプログラム、第三次なばり快適環境プラン	